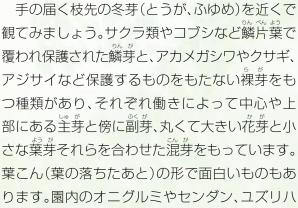
びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312 メールアドレス biwako@moridukuri.info URL http://www.moridukuri.info

11月も後半に入り、県内をはじめ各地の紅葉の便りも盛んで、園内のヤマザクラ、ヤマモミジなどの紅葉もあちこちで見られます。一方、里の森ゾーンの四季桜は今が満開です。今年の森のドングリは昨年が豊作だったこともあり、全体に不作です。それでも連日のようにドングリ拾いに訪れる子供たちには、それなりに喜んで帰ってもらいました。

落葉樹はこれから葉っぱが散り始め、一部を除いてきれいに枝と幹だけになります。一方でふれあいゾーンの常緑樹林は、この時期から春までひと際暗い感じです。各ゾーンの植樹した区域は、ほとんどが落葉樹

と常緑樹の混交林です。まだ台風21号で倒れたり折れた木をあちこちで見かけますが、これからの季節の森の観察は、まず樹冠や枝の広がりを観ましょう。特に落葉樹は葉っぱが落ちているので、分かりやすいと思います。樹冠を大きく広げたもの、大きく上に突き出しているもの、隣の木と絡み合っているものなどの様子をみてください。次に木々の幹肌の観察です。サクラの仲間でも特にヤマザクラの濃いえんじ色(深紅)の木肌は縞模様がとてもきれいで、間伐するとクラフトの材料として最高です。クヌギやコナラ、ヤマモモなどの幹もそれぞれ特徴があり、趣があります。



などは、例年冬の観察会で子供たちがスケッチをしますが、ガマ ズミやヤシャブシなども面白そうです。

草原では、タンポポなどのロゼット(低い茎から放射状に張った葉っぱ)をもつ植物が競演をしています。春を待ちながら冬を越す森の生きものたちを観てみましょう。



ヤマザクラの木肌



アジサイの冬芽 (頂芽)



センダンの葉こん



セイヨウタンポポ、オオバコのロゼット

植樹から10年森はこんなに生長しました!

21世紀の幕開け2001年(平成13年)、つどいのゾーンで開催された滋賀県植樹のつどいで、県民 協働の森づくりをコンセプトにスタートした「びわこ地球市民の森」は、その後ふれあいゾーン、出会 いのゾーン、里の森ゾーンと順次植樹がなされてきました。

植樹は50cmから1m程度の小さな苗木でしたが、個人、企業、団体、グループ、学校など多くのサ ポーターの皆さんの植樹から育樹への熱心な活動に支えられ、17年の歳月を経た今順調に生長を 続けています。

今回は、自生木が育成するふるさとゾーンを除く4つのゾーン(ふれあいゾーン、出会いのゾーン、つ どいのゾーン、里の森ゾーン)の代表的な箇所の森の生長の様子を紹介します。

植樹の概要(植樹期間:H13~H25 13年間)

種類:90種、本数:160,967本、 参加延人数:44.994人

樹種 常緑樹(アラカシ、スダジイ、シラカシ、ヤブニッケイ、ヤマモモなど22種)

落葉樹(クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、エノキ、ムクノキなど40種) その他28種

ふれあいゾーン(植樹期間:H15~H25)

遠くの比良の山なみが見えなくなりました。

平成20年当時

出会いのゾーン(植樹期間:H18~H20)

右端の時計台や左端の人家が見えなくなりました。



樹高は平均7.7m、最高で15mのクヌギも!



樹高は平均5.0m、最高は8.4mのクヌギ!



つどいのゾーン(植樹期間:H13~H25)

平成13年「滋賀県植樹のつどい」での植樹地です。左端の旧 森づくりセンターが見えなくなるほど大きく生長しました。 手前はグラウンドゴルフ場です。 平成14年当時

里の森ゾーン(植樹期間:H20~H25)

後方正面の三上山や人家、JAおうみ富士守山営農センター などの建物が見えなくなりました。

平成24年当時





樹高は平均6.5m、ここでもクヌギが12.5mと最高!



樹高は平均4.5m、最高でセンダンの10.1m!

* 樹高は、予め設定された調査箇所での数値です。* 森の生長の様子は、森づくりセンター展示コーナーにも掲示しています。

夕一活動 開催!

平成30年10月14日(日)、本格的な秋の気配を感じ させる爽やかな晴天のもと、今年3回目となるサポー ター活動が開催されました。

当日は、60名のサポーターの皆さんが参加し、森づ くりセンター前での開会式のあと、今回の作業地であ るつどいのゾーンまで森の様子を観察しながら移動し ました。

現地で作業内容の説明を受けたあと、平成18年に 植栽されたクヌギ、コナラ、エノキなどの間伐や枝落 とし作業を行いました。

作業前は混み合っていた森が、サポーターの皆さん の熱心な作業で明るさを増し、気持ち良い風を受けて一層元気そうにみえました。



開会式の様子



森の観察をしながら移動



作業内容の説明



間伐・枝落とし作業



間伐・枝落とし作業

作業後は、隣接の今浜町コスモス園を観賞し満開の花を バックに記念写真を撮るなどして楽しみ、その後簡単な昼

食を賞味し活動の疲れを癒しました。

参加していただきましたサポーター の皆さん、ありがとうございました。次 回は、来年3月9日(土)に今年度最後 のサポーター活動を計画していますの で、引き続き多くの方々のご参加をお 待ちしています。





コスモス園観賞

無づくり

森の小道へどうぞ!

皆さんに植えていただいた森の樹は、高さが10mを超えるエリアもどんどん増え、「森」らしくなってきました。

枝落としや間伐をして、見通しが良くなった森の中を散策できるように、間伐した木の幹で道を縁どり、「小道」をつくっています。

ひとつは、つどいのゾーンの2001年 (平成13年) 最初に植樹されたエリアに、サポーター「のやまであそぼうの会」の皆さんによる**「はじまりの森」の小道**、もう一つは、ふれあいゾーンの2005年(平成17年)植樹のエリアに、サポーター「みいの会」の皆さんによる**「常緑の森」の小道**です。

アスファルトの道から、ちょっと「森」に入って、落ち葉の音や土の感触を味わったり、「どんぐりからの芽生え」や「森を舞うチョウ」を探してみませんか。

つどいのゾーン「のやまであそぼうの会」の皆さん

ふれあいゾーン「みいの会」の皆さん













「足元、切り株に注意!」です。

お知らせ

第4回森づくりサポーター活動のご案内

早春の森が、みなさんのお越しをお待ちしています。

開催期日 平成31年3月9日(土)

開催場所 びわこ地球市民の森(里の森ゾーン) 活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など





今年は、記録的な猛暑や猛烈な台風に見舞われるなど自然の厳しさを改めて感じさせられる1年でした。 一方、森は台風の影響で風倒木の被害もありましたが、本号でも紹介しましたとおり、植樹から17年の歳月を経て順調に生育しています。

これも年間を通じ熱心に育樹活動に取り組んでいただいているサポーターの皆さんのおかげと感謝しています。

来年も健全な森づくりに引き続きご協力の程よろ しくお願いします。

森のデータ

42.5ha
3.2km
100 ∼ 200 m
80,808 m
H13~H25
44,994 人
160,967 人
176,136人
7,550 人
2,936 人